

Ⅲ. 兄弟姉妹の会について

家族回答者

①負担の心配・否定的意見（20）

- ・兄弟姉妹の会は慎重であるべきと考えます。兄弟姉妹は精神的な補助的支え程度と考え、金銭面で負担はかけられません。問題そのものが重荷過ぎるからです。それより新法整備の内容を充分検討することが重要。
- ・兄弟姉妹にまでひきこもりの人達の手助けをお願いする事は可哀想な気がします。
- ・兄弟は助け合うのは必要と思いますが、過重に負担をかけるのは避けなければならない。
- ・兄弟姉妹が理解するのは不可能。まず親だと思う。
- ・兄弟姉妹が正論で関わるのは危険だと思います。
- ・親の高齢化対処として必要。ただ、かかわり方が不明確（自分の家族を持っている中で対応することは現実的に困難と思う）。
- ・兄弟姉妹は本人とかかわりたくないと言っているので、1人で自立の道があればいいと思います。
- ・兄弟姉妹に本人の支援を期待するには無理があると思う。それぞれに生活もあり、無理強いはできないと思う。
- ・兄弟はあまり関わりたがらないけれど、将来的には頼らざるを得ないところもあり、複雑。我家に関しては今はまだ兄弟には無理で、負担は強く、頼ることはできないと思っています。
- ・親としては兄弟姉妹までに負担をかけたくないと思う。結婚では特に苦しい思いをする。本人を何とかするという事ではなく、兄弟姉妹が「なやみ」を打ちあけて、自身がこれから希望を持って生きていく為の会なら良いと思います。
- ・良いことであるが、兄弟姉妹に親亡き後を押しつけられる問題ではない。
- ・兄弟姉妹の会というのは良い事だとは思いますが、親がどうかなった場合の負担というのは大きいのではないのでしょうか。小さい時は仲が良くても大人になったら疎遠になる場合もあるので兄弟姉妹の負担が大きくならないようになってほしいと思います。
- ・兄弟、姉妹にも生活があるのでそれを縛ってよいものなのか？けれども、面倒を見る必要が有る様にも思うが・・・。
- ・本当に素晴らしいとは思いますが、兄弟にその余裕（時間、金）があるとは思えません。
- ・兄弟姉妹への負担はかけたくない。障害者同様の国の支援をして欲しい。
- ・兄弟姉妹の会設立は良いが、方向性によっては「兄弟姉妹」に押し付けのようにならないことを望む。
- ・兄弟姉妹の会はとても難しいと思います。兄弟でも結婚して家庭を持つと今の時代

兄弟の事を考えるゆとりがなくなって来ると思います。まして子供が出来ると子供を育てるだけでも精一杯になってしまいます。

- ・兄弟姉妹が親と同じようにみる必要はないと思う。兄弟姉妹はそれぞれの幸せな道

を行ってほしいです。親がいなくなったら行政がみてほしいです。

- ・私は、兄弟姉妹をひきこもり問題にひっぱりこみたくないと思います。基本的に父母と本人の問題だと思うからです。でも、兄弟姉妹の側から何とかしたい、支援したいという考えであれば、消極的に賛成します。

- ・弟1人、兄の状況について悩んでいる様子はあるが巻き込みたくないで自分の事だけを考えて将来設計をするよう、話をしております。今、兄弟の事を持ち出すと共倒れになる状況にあるため。

②ひきこもり理解のための活動（12）

- ・兄弟の中でつまづいてきた当事者もいるかと思いますが、身近の所から協力出来る事が一番大きな力となる事と思います。この為には親として、子供達に話をしていく事も必要な時期になっているのかとも思います。

- ・兄弟の理解は親からも伝えていますが、その設立は多いに利用したく思います。

- ・長い間の事ですから兄弟姉妹の会が必要と思います。特性（質）ぐらいは知らないで仲良くなれない。

- ・兄弟の当人に対するかかわり方。兄弟が当人を理解する力をつける方法。

- ・兄弟姉妹は本人にあまりにも手がかかるため、さみしい思いをさせる事があり、親として反省している。解るようになったら解る程度の事を隠さず話し続けて行く事が大切だと思う。

- ・親亡きあと、動けない本人に代わる人に挙がるのは一番に兄弟姉妹である。よって、理解や方針を考えるように設立は不可欠であると思う。

- ・我家のことを考えても仕事を持っている弟がどれだけ理解できるかが難しい。当事者と長くかかわっていないし、離れているので難しい。当事者を理解できるような啓蒙的なことも必要か？

- ・上の兄は弟のことがきっかけで、自分なりに「ひきこもりに対する活動」を行っている。勉強していく中で「これは誰でもがなりうる状態で特別なことではない。自分も一時期なってもおかしくなかった」と言っている。まず身近な兄弟が本人の理解者になることは本人にとって大きな支えになると思う。親は先に死ぬ。とても大切な取り組みだと思う。

- ・当事者の事についてもっと知りたいという気持ちで参加するのは良いことだと思うがかかわっている親が心配という事で参加していく事はむずかしい関係になっていくのでは・・・(きょうだい関係が)。

- ・兄弟姉妹が当事者を理解し支えあっている会。
- ・兄弟姉妹の理解を得られることは親としても心強いことだと思います。親が亡くなった後のことを考えると必要なことだと感じました。
- ・兄弟姉妹はある面、親より冷静に見られる点があると思います。現状について理解し、できるだけ声掛け（強制的な事を言うと嫌がられる）、結びつきを多くし、信頼関係を保ち、普通に接していくのが良いのではと思います（我が家の場合、二人とも妹ですのでそのようにしています）。

③兄弟姉妹への支援の必要性（11）

- ・兄弟姉妹はもちろん、当事者を助けたいという気持ちがあると思いますが、それが心理的、経済的負担にならないような支援が必要です。
- ・ひきこもりは当事者と親だけの問題ではなく、いずれ親無き後は必ずや兄弟にも助けを受ける時が来ます。その為、兄弟にとってもサポートが必要だと思います。兄弟姉妹の会の設立は良かったと思います。

- ・兄弟姉妹の苦しみも理解・支援を広めてほしい。
- ・障害児・者の支援の中でも、兄弟姉妹への精神的サポートに注意すべきことがアピールされるようになって久しい。ぜひ会を立ち上げ具体的な活動をしてほしい。
- ・兄弟姉妹の会の設立は良いことでありがたいです。親の目線とは違い、ひきこもりの兄弟姉妹は、学校でいじめにあったり、同じようにみられるので、本人にあたり対立するからです。兄弟姉妹も親の会のように集まって話しをしたり、個々にカウンセリングを受けたりして、ひきこもり本人についての関係を良くしていく活動を望みます。また親の死後、ひきこもりの兄弟姉妹をみなくてはいけない不安をとりぬく方法を法的に教えてほしいです。
- ・ひきこもっている兄のことで悩んだ時、話し合える仲間がいるのは心強いと思います。兄弟姉妹の会があることは伝えますが、親としては本人の気持ちに任せます。
- ・親以上に、ひきこもりの兄弟姉妹は苦しんでいると思う。ひきこもり本人だけでなく、兄弟姉妹をケアするようなシステムをつかってほしい。特に、兄弟姉妹が小学生、中学生の時にサポートを受けないと、一生トラウマになり、兄弟姉妹までひきこもりになる可能性が高い。親の死後、もっと深刻な問題が起きてきて、兄弟姉妹の人生まで制限を受けるようになる。
- ・全国的な実態の把握と本人の生活保障等がされる中で、兄弟姉妹の方の精神的、経済的な問題も考えて進めていく必要がある。
- ・兄弟姉妹の会は必要だと思います。親がいなくなったとき、兄弟姉妹の会があることによって個人の負担にも（精神面にも）よいのではないかと思います。
- ・良いことだと思います、兄弟の支援についてお願いしたいです。本人もですが兄弟

も高齢化しています。兄弟の会の支援をする人たちは兄弟のプライバシーに配慮して欲しいです。

④交流の場（12）

・とても良い（企画？）会だと思います。社会全体への理解と支援を求めていく事も大切ですが、現実問題、家族が支え、対応していかなくてはなりません。又、兄弟姉妹だからこそその悩み、不安、課題もあり、お互いに話し合う事でプラスに働くと
思います。

・親亡きあとはどうなるのか。兄弟姉妹が当事者の世話をすることは困難であると思
う。どのように関わりを持つかということであれば、多いに意見交換をする価値は
あると思う。

・意見交換をする（自分は何をすべきか、親がいなくなったらどうするか）。

・兄弟姉妹の理解は大切だと思います。自分の家族の中にひきこもりの人が居る事に
悩んだり苦しんだりしていると思われます。親の会と同様に、自分達の気持ちを
はき出したり、安心して話せる場所が有ることは大変良い事だと思います。

・兄弟姉妹の関係は家族なので難しいと思います。本音と本音の言い合いになりま
す。だからこそ、第三者のかかわりが大切だと思います。同じような考え方から、
兄弟姉妹が他者の考え方の気づきを学ぶ良い機会と思います。

・お互い同じ悩みをかかえる人で構成される会ですので、当事者本人を主体にした会
であることと親同士が悩み等を共有できる会であってほしい。

・会のあり方としては、親の会同様、集まる場所とサポーター（臨床心理士や精神科
医師）が必要と思います。

・親の会と同じようにひきこもり当事者への理解が出来るように学習会やグループ
ワークで他の兄弟姉妹の方達との交流が持てると良いと思う。

・弟達は充分患者のことを理解しておらず我慢している。弟達の思いをさらけ出せる

場所が今後築けると助かります。

・身体障害者の兄弟が育ちの中で多大な影響を受けることは、よく知られている。そ
の影響は大人になり独立しても大なり小なり存在する。兄弟姉妹の会は、きれい事
を言わないでほしい。親を巡っての葛藤や近所、友達からの偏見・中傷もあって嫌
な思いをしたはず。それらを十分に吐き出し、慰め、そして同胞への知識と理解を
他へ知らせる、又は支援に共同するまで登ってほしい（親は勝手です）。

・本人に対し、兄弟姉妹も大きな悩みを持っていると思われます。会にどのような機
能を持たせるのか上から目線ではなく当事者間でじっくりつめることが大切と思わ
れます。

・親亡き後は兄弟姉妹に関わってくるので兄弟姉妹の相談できる場所が必要。

⑤兄弟姉妹から当事者への支援（8）

- ・必要かと思います。長期のひきこもりに対しては親だけでなく兄弟姉妹の支援が必要。ただ、今のひきこもりの状態がどうなるのか予想がつかない。
- ・親も高齢になり先の事を考えると不安になる。兄弟姉妹で出来る事をやってくれたら心強い。我が家の場合は姉妹ケンカが発症のキッカケになったのでうらやましい。
- ・一番ひきこもり当事者と影響を受けたり与えたりする関係の兄弟姉妹がひきこもり当事者を支える組織を立ち上げてくれることは本当に心強いと思います。
- ・親が高齢化してきているので今後、重要な意義があると思う。
- ・本人に対する兄弟姉妹の対応成功事例を手引書的に作成でき、兄弟姉妹に渡せて心配しているケアにつながればと思います。
- ・当面、本人については親が対処している。兄、姉は遠方で世帯を持っているので、なかなか本人と係ることはない。しかし親の死後、係りが必要となるので、その時に備えて色々なケースを考えて兄弟姉妹の会に教えていただくかもわかりません。
- ・親より兄弟のほうが長く生きるので兄弟の支えが必要と思う。是非利用したいのですすめて欲しい。
- ・親の亡き後の問題で兄弟姉妹のあり方に悩みが多く出るので、ぜひ必要と思う。

⑥社会への活動・広報活動（10）

- ・兄弟への支援をしてくれるよう行政等に求めていく。
- ・色々な活動を定期的に参考までに教えてほしいです。
- ・今、現在は母親が活着ているが、親亡き後のことを考えると、きっといつかこの会を必要とする時がくると思っています。そんな時に世の中がオープンに会話できるようになって欲しい。
- ・必要性などを具体的に意識し、考えたことはないが、問題解決に社会全体が関わることの一つとして、よいことだと思う。
- ・これから、全国にもこのような会ができれば安心できると思います。
- ・原則としては、支援者を家族へ広げるのではなく社会へ広げるべきと考えます。兄弟姉妹でよく話しあって欲しいと思います。
- ・兄弟姉妹の会の設立は初めて聞いたことと、詳細についてもっとPRして欲しい。
- ・この会は多分、まだ世の中に広く知れわたってはいないと思うので、もっと広めたほうが良いと思います。
- ・本人にかかわるにあたって親と兄弟とでは違うと思えるので、会の設立は良いと思う。会の情報を出してくれると私的に参考になると思う。
- ・親亡き後、兄弟姉妹の負担は当然重くなると思う。前出のような事件が起きてはな

らないので兄弟姉妹がすべてを背負い込むことのないよう，社会に働きかけ，兄弟姉妹がいても利用できる社会的受け皿が必要。そういう働きかけも兄弟姉妹の立場からも行っていけばよいと思う。

⑦運営について（7）

- ・皆会員同じ思いで活動していかれ，皆さんと力を合わせていかれる事をお願いします。
- ・一人っ子の時はどうしたらよいでしょうか。
- ・兄弟姉妹の会は，社会的に現役の人である。親が上記の会を支援してもおかしくないと。支援内容は，金銭をメインとして，就業（事務，他）協力が考えられる。
- ・年1回位見学会があるといいですね。
- ・本人の兄弟姉妹はいないのでよくわかりませんが定期的を開催したら良いのではと思います。
- ・今のところ，私の家の場合1人の姉は理解が無く，参加しないと思う。しかし全体に見れば悩んでいる兄弟，姉妹が多いと思う。さしあたっては，インターネット上でのやりとり等から始めたら良いのではないのでしょうか。
- ・兄弟姉妹の会に入りたいと思いましたが，今はネット掲示板のみの情報交換だと聞きました。年1度でも会って話せる会の方がよいと思います。働き盛りで兄弟は時間を作るのは難しいとは思いますが。

⑧親の会との連携（5）

- ・大変良い事である。家族を孤立させず，親の会と一緒に活動したら良いのではと思います。兄弟姉妹も生活がきびしく，経済的にも大変です。そこに集うことのできる人は限られます。
- ・親の多くは，他の子どもに迷惑をかけたくないと思っているが，たとえ，ひきこもり本人が社会に出られたとしても，状態が永久的に続くことは，まず不可能なので，やはり親亡き後，兄弟にも隠している親が多い（特に結婚して兄弟が自分の家族をもっている場合）と思うので，親が抱え込んでいるのをきちんと家族に開示するところから始める。
- ・兄弟姉妹間でかならずしも仲がいいケースは少ない。「ひきこもり」を理解するには知識，経験等が足りない。親の会等に参加してもらって「ひきこもり」についての理解を深めてもらう必要がある。自分は面倒見てもいいと思っても他人（妻，夫）に理解，協力が難しい。
- ・大事だと思います。他の兄弟姉妹との話し合いです。当事者と親，親と兄弟姉妹，

のように親を中に入れた方が良いと思います。直接、当事者と兄弟姉妹は悪いと思います。

・兄弟姉妹の会にしっかりした学習などのサポートを行政，親の会などをお願いしたい。